

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



中学生模擬議会を開催

詳細については12ページ

9月定例会のあらまし

9月定例会は9月6日から9日間の会期で開催されました。
町長より議案12件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり可決されました。(2件は継続審査)
一般質問は11名の議員が、2日間にわたり行いました。



9月定例会

平成23年度各会計補正予算などを可決・・・P2~P3

災害時要援護者名簿登録制度の創設についてなど 行政報告・・・P4

町政を問う 議員11名が一般質問・・・P5~P11

決算に関する議案は継続審査

一般会計補正予算など
10議案可決



交通事故の防止を図るため、信号機が設置されます。(中川踏切、東酒々井側)

平成23年9月議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町基本構想の策定に関する条例の制定について

地方自治法の一部改正により削除された規定に対応するため、地方自治法第96条第2項の規定に基づき、町議会の議決事件として、酒々井町基本構想の策定に関する条例を制定しようとするものです。

◇酒々井町下水道事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

下水道事業の円滑な運営に必要な事業資金を確保するため、基金を設置するもので、各種開発事業において、町と開発業者との間で、下水道施設の維持管理及び建設整備に関する協定等が締結された場合に、その定めに基づく負担金を下水道事業基金として管理し、資金を確保しようとするものです。

一般会計

◇一般会計補正予算(第5号)

補正の主な内容は、各小中学校にエアコンを設置するための設計業務委託費、各小中学校、

各保育園及び学校給食センターに防犯カメラを設置するための工事請負費、酒々井小中学校の用地購入費など、子どもたちが利用する施設の環境整備を進める経費をはじめ、納税者の利便性を向上させるためのコンビニ収納のシステム改修費、住宅用太陽光発電設備の導入を促進するための補助事業、さらに、平成22年度決算に伴う各特別会計からの繰入金や繰越金等の補正を行うものです。

特別会計

◇国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、歳出では、基金積立金及び償還金を増額し、歳入では、繰越金を増額するものです。

◇下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成22年度会計が終了したことにより生じた剰余金の処分及び震災で被災した施設の復旧対応で不足する事業費の補正です。

◇介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成22年度事業の確定に伴う補正で、歳入で

は繰越金を増額し、歳出では基金積立金、償還金、一般会計繰出金を増額するものです。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、平成22年度決算に伴い、歳入では繰越金を増額し、歳出では広域連合納付金及び一般会計繰出金を増額するものです。

◇水道事業会計補正予算(第2号)

補正の内容は、人件費についての補正です。

◇工事委託契約の締結についてICアクセス道路整備工事(3B-022号線カルバート工)

8月24日に、6社の参加により制限付き一般競争入札を実施した結果、山武郡横芝光町の古谷建設株式会社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

◇教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

現教育委員会委員の小山優子こやまゆうこ氏が9月30日をもって任期満了となることから、再任するにあたり同意を求めるものです。

【報告】

○財政健全化判断比率及び資金不足比率について

「健全化判断比率」ですが、一般会計等を対象とした「実質赤字比率」と公営企業会計を含む「連結実質赤字比率」については、いずれも赤字額は無く該当がありません。

また、借入金負担の程度を示す「実質公債費比率」については6・1パーセント、将来負担しなければならぬ債務の程度を示す「将来負担比率」は0・2パーセントといずれも早期健全化の基準値を大きく下回っています。前年度と比べても比率は下がっており、改善されている状況です。

さらに、「資金不足比率」については、赤字比率同様に資金不足額が無いので、該当がありません。

◇一般会計予算継続費精算報告書について

平成21年度から平成22年度までの継続事業となっていた「戸籍電算化業務」について、事業が終了したので報告するものです。

議案・賛成討論(要旨)

御園生浩士議員(議案第5号)

子どもたちの災害に対する安心・安全、また、外部からの侵入者に対しての防衛として、給食センター、保育園及び学校に防犯カメラを設置することは、非常にありがたいと思う。死角や、数が足りないということがないよう、しっかりとつけていただきたい。

中学生を海外に派遣する事業の下見として今年度予算がついたが、これはこの町にとって画期的な事業だと評価する。未来ある子どもたちの視野を広げ、国際交流を通して地域や日本を勉強するよい機会である。この制度を永続的に続けていくようにお願いして賛成の討論とする。

議案・反対討論(要旨)

齊藤博議員(議案第1・2・7・11号)

議案第1号について、私は、執行機関の自立的な行政運営を尊重しつつ、重要な計画の策定には二元代表制の一翼を担う議会として積極的に力がかかり、より計画的で透明性の高い町政を目指していく必要があると思う

ので、そのためには基本計画についても基本構想の審議資料にとどめず、議会の議決事項として定めるべきと考える。議会で審議した結果に基づき、議会も責任の一端を担って町民に公表し、町民の合意形成を図るべきであるので反対をする。

議案第2号は、この財政調整基金は一般の財政調整基金と同様の運用をするということだが、積立金の目標額、あるいは下水道会計が財政調整基金をもってどのような繰越金のルールをつくるのか説明がなかった。また、独立採算を目指すということだが、繰入金を抱えながら繰入金で支えられている現特別会計の中で、どれだけの財政調整基金の積み立てができるのか不明確であり、より詰めた形の条例提案をお願いしたい。議案第7号はその条例の具体的な予算組みなので、あわせて反対する。

議案第11号は、南部開発事業に関連する道路工事に係るものであるが、現状に適した財政見通しを町はもっていない。私は、南部開発事業は町の財政を豊かにしないと判断しているので、本工事についても反対をする。

議案と議決結果(町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	酒々井町基本構想の策定に関する条例の制定について	総務	原案可決 ○
2	酒々井町下水道事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	経済建設	原案可決 ○
3	平成22年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会	閉会中の継続審査
4	平成22年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会	閉会中の継続審査
5	平成23年度酒々井町一般会計補正予算(第5号)	※	原案可決 ◎
6	平成23年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
7	平成23年度酒々井町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	経済建設	原案可決 ○
8	平成23年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
9	平成23年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	教育民生	原案可決 ◎
10	平成23年度酒々井町水道事業会計補正予算(第2号)	経済建設	原案可決 ○
11	工事請負委託契約の締結について	経済建設	原案可決 ○
12	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	なし	原案同意 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。(※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

町長より5件の行政報告がありました。(要旨)

「ともに支え合い助け合う地域の手」酒々井町災害時要援護者名簿登録制度の創設について

高齢者等の災害時要援護者に対する避難支援対策が、防災対策上の緊急な課題となっています。

そこで、災害に備え、要援護者の避難支援を迅速かつ的確に行うため、日頃から要援護者に関する情報を把握し、防災情報の伝達や避難誘導などの支援体制の整備を図ることにより、地域の安心・安全体制を強化することを目的とした、「ともに支え合い助け合う地域の手」酒々井町災害時要援護者名簿登録制度を創設するものです。

この制度は、要援護者の自助と地域の共助を基本としたもので、75歳以上の一人暮らし高齢者、75歳以上の高齢者のみの世帯などの災害時要援護者に対し、区・自治会や民生委員児童委員、更には福祉の推進を図る関係団体の方々などの協力をいただき、関係機関への情報提供の本人同意を得た上で、災害時要援護者名簿への登録を行うと

ともに、要援護者個々の避難支援計画についても策定するものです。

また、日頃からの声かけや見守りも避難支援を行う方に依頼し、要援護者が安心して暮らせる地域づくりを目指すものです。

大気中の放射線測定について

本年6月から酒々井消防署の協力により、町内の主な施設において大気中の放射線量の測定を行っていましたが、8月からは購入した測定器を用いて、保育園や小・中学校の他、公園等を含め19か所を町職員が直接測定し、町ホームページ等で随時公開していますが、今後も継続して測定を実施していきます。

農産物の放射性物質検査状況等について

千葉県では、東京電力株式会社社福島第一原子力発電所の事故に関連して、千葉県産農産物の安全確認のため、3月20日から放射性物質の検査を随時実施しています。

当町の農産物については、5月3日に「コマツナ」の検査を初めに、6月から8月末までに「キャベツ」、「キュウリ」、「ナ

ス」、「トマト」の4品目の検査を実施したところ、検査結果は放射性ヨウ素、放射性セシウムは共に不検出でした。今後も、安全、安心な農産物を消費者に提供するため引き続き検査を実施する予定です。

なお、国民の主食である米については、県が主体となり各市町村毎に放射性物質の検査を実施しました。千葉県では、52市町村(浦安市、鎌ヶ谷市を除く)271地点での本調査が終了し、8月31日付けで、県内の米を生産している全市町村で出荷、販売が可能となりました。

当町の放射性物質の本調査については、8月26日に「ひめのもち」のサンプリング検査を実施した結果、放射性セシウムが検出されなかったことにより、8月28日付けで、酒々井町で生産された米は出荷自粛解除となったので、検査結果を町ホームページに掲載すると共に、農家組合長を通じ各農家にお知らせしました。

また、8月5日に原子力損害賠償紛争審査会が「東京電力株式会社社福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害の範

囲の判定等に関する中間指針」を決定しました。この中間指針の中で、千葉県全域が農林産物の風評被害補償の対象地域となりました。

酒々井ちびっこ天国夏プール事業の運営について

酒々井ちびっこ天国については、第2期最終年の指定管理者による施設の管理運営が実施されました。

開園日は37日間で、入園者数は、天候不順等が大きく影響し昨年を下回る53,174人でした。

開園期間中は、一件救急搬送された来園者がいましたが、その他には大きな事故等もなく運営されました。

また指定管理者より、入園料の一部を東日本大震災義援金として、町を通じて日本赤十字社に寄付したいとの申し出がありました。

なお、多数の来園者が利用する特定建築物に位置づけされている施設であることから、今後耐震化等を含め、更なる安全対策を優先的に検討していきます。

酒々井町住宅リフォーム補助金制度について

本年6月1日より受付を開始した酒々井町住宅リフォーム補助金制度は、8月末時点で26件の交付申請を受け付けており、リフォーム工事費用2千962万5千944円に對して、214万6千円の補助を行う予定です。

工事の内容は、東日本大震災で被害を受けた屋根や外壁等の修繕・塗装工事、省エネや環境に配慮した断熱内窓の設置工事、高齢化に対応したバリアフリー工事のほか、台所、浴室、便所等のリフォーム工事に係る申請がありました。

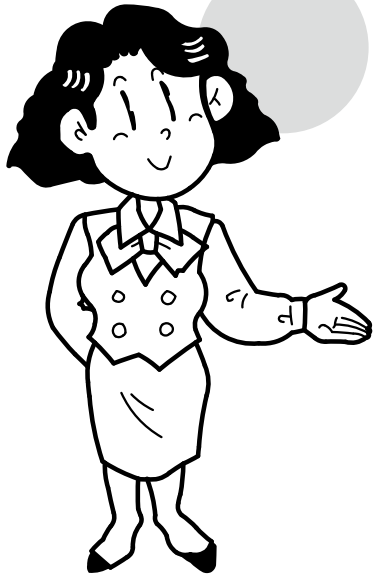
制度の周知については、5月末にリーフレットの回覧を行うとともに広報ニューしすい6月号、7月号及び9月号に掲載し、住民の皆様にも活用いただくよう、広く案内しています。

また、町商工会において、5月に町内施工業者に対する説明会を開催いただき、8月に「商工会お得かわら版」において、住宅リフォーム補助金制度の案内を新聞折り込みにより配布いただきました。

今後とも引き続き制度の周知に努めて参ります。

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、13日と14日の2日間に11名の議員が、防災対策、南部開発事業についてなど、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。

問

町の情報を各団体と共同でPRしては

答

一層の周知効果がある

御園生 浩士 議員

問 ① 住宅リフォーム補助金制度の申請件数、工事費総額、補助金額と今後の見通しについて伺う。また、商工会発行の「お得かわら版8月号」に同制度が掲載され、各団体と共同でPRすることは大変良いことである。今後、町の各種制度の情報について、このような形でPRすべきと思うが如何か。

② 小規模工事等希望者登録制度の登録者数、発注数、総額、受注内容を伺う。

町長 ① 8月末現在で26件の申請を受け付け、工事費総額は2千962万5千944円に対して、214万6千円の補助金を交付する予定である。今後の見通しについては、申請件数が減少傾向にある。商工会発行の「お得かわら版8月号」で、同制度を紹介いただいたが、他の制度においても各種団体と共同でPRしていくことは、一層の周知効果を高めるものと期待している。今後にも必要に応じて各団体と連携を図り、共同でPRしていきたい。

財政課長 ② 8月末現在で、登録者数は21業者、発注件数は29件、総額は311万2,410円となっている。

主な受注内容は、各施設の修繕及び道路維持工事となっている。

東日本大震災における被害について

問 当町における被害件数と被害総額に対する復興状況について伺う。また、災害見舞金の申請状況についても伺う。

町長 8月末現在で、住家被害で全壊1棟、半壊1棟、一部損壊が164棟となっている。町が把握している被害総額は5,525万2千円、町施設では、中央公民館、町体育館等に被害があり、被害総額は4,178万5千円であり、今後、道路等において、2,367万6千円が執行予定となっている。また、災害見舞金の申請状況については、8月末現在で71件の申請があり、支給を行った。



福島県いわき市小名浜の被害状況

問 小中学校にエアコン設置を

答 平成24年・25年の2カ年で設置する予定

金塚 学議員

問 小中学校の教育環境について、28度を超える環境での学習は効率も下がり、学習意欲の低下にもつながる。エアコン設置の事業予定があるのか伺う。

町長 各小中学校にエアコンを設置するため、今議会の補正予算に設計業務委託費用を計上した。平成24年度、25年度の2カ年で設置する予定である。

52

しての対策と構想はあるのか伺う。

町長 若い世代の最大の関心は、安心して子どもを産み育てられる環境と考えている。そこで、子育てしやすい環境の整備や企業誘致による雇用の確保を進めるとともに、若い世代が入居しやすい住宅地の開発検討や、各種施策の推進により、「住んでみたい」と思えるまちづくりを進めていきたい。

防災対策について

問 ① 一時避難所や避難所が指定されているが、管理・運営の問題からそれらの避難所には「避難所運営マニュアル」等は整備されているのか伺う。

② 7月臨時議会で防災行政無線屋外子局の音響調査費が可決されたが、調査状況と今後の予定について伺う。

担当参事 ① 現状ではマニュアルが整備されていないので、今後の防災計画の見直しと併せて、避難所運営マニュアルの策定についても検討する。

② 9月末までの予定で音響調査を実施している。点検調査結果を基に今後の対策、また、対応できるのかを検討していく。

問 少子高齢社会となり、人口も減少傾向となった町として、若い世代を集めるための努力が必要であるが、町と

町の活性化対策について

問 防災対策の抜本的見直しを

答 中央台公園は防災拠点の一翼を担う公園として整備する

那須 光男議員

問 ① 避難所等に避難してみたものの、トイレもなければ断水により水が出ないでは混乱することは明らかである。一時避難場所を含めて防災井戸とトイレを設置することを直ちに検討すべきと考えるが如何か。

② 中央台公園防災等再生事業は、新たな箱物を作って災害用の備蓄倉庫を作るのが目的だと思う。そのために避難所としてのスペースが大きく縮小されることになる。また、この公園はドクターヘリの離発着場でもあり、狭くなった避難所にヘリコプターが到着すれば大混乱になることは明白である。

最近の新聞報道によれば、大震災を機に大阪市は現在区役所などで備蓄品を保管しているが、各学校で備蓄することを検討し始めた。横浜市では学校に防災用倉庫を設置し備蓄している。過去の経験や今回の震災の教訓に逆行する中央台公園防災等再生事業は、直ちに白紙撤回すべきと考えるが如何か。

また、事業開始に伴い公園の樹木を伐採することは到底認められないと思うが、町の考えを伺う。

町長 ① 防災井戸については、避難所である小中学校3か所に整備している。一時避難場所は、一時的に避難集合し、その後集団で避難所へ避難するためのものであり、今のところ防災井戸の設置は考えていない。トイレについては、避難所としている施設には、すべて設置されている。避難場所や一時避難場所については、災害対策用仮設トイレやマンホール対応型トイレなどの備蓄を検討していく。

② 中央台公園防災等再生事業は、町役場、中央公民館、保健センター、プリミエール酒々井、中央台公共用地等の各施設との連携や機能分担により、防災拠点の一翼を担う公園として整備するものであり、災害時の一時避難場所の機能や緊急時のヘリポートなど、救護活動の場としての役割を果たす公園としての整備を考えている。なお、中央台公園は一時避難場所として考えており、本事業はその機能をより充実させるものである。

問 町民等からの要望に対し、町の対応方法では不満・不信を招く

答 回答に時間を要する場合には、途中経過を報告するなどの対応を行っていききたい

齊藤 博議員

問 町民や自治会等から多くの要望が出されているが、町の対応はマチマチである。特に日が経っても連絡すらない場合もあり、町民の不満・不信を招く結果となっている。要望事項が解決できるかどうかは別にして、一定の期間内に検討結果または経過を相手方に報告するルールを全庁的に徹底し、対応すべきと考えるが町の考えを伺う。
担当参事 町としても丁寧な対応を心掛けていますが、要望内容により多くの課に関連する場合や法律的な面も含めて町だけでは対応できない要望もあることから回答に相当な時間を要する場合もある。今後は回答に時間を要する場合には途中経過の報告をするなどの対応を行っていききたい。

介護施策について

問 特別養護老人ホームが20床不足している町は明らかにしているが、民間の計画頼りで5年以上も増床されていない。民間頼りではなく、町が用地を提供し、広域圏規模で整備してはどうか。また、40%以上の方が「在宅」を希望しているのに、在宅サービスが充実していない。中でも足となる移送サービスの改善をすべきと考えるが町の考えを伺う。
町長 特別養護老人ホームの整備は、これまでも近隣市町村と連携しながら対応している。在宅サービスの充実のため、町は介護サービス事業者に対し、サービスの需給状況等の情報提供により参入を促進し、サービス体制の充実に努め、利用者が安心してサービスを受けられるよう配慮していききたい。

南部開発事業について

問 南部開発からの税収想定は困難と議会答弁しているが、町長は記者の質問には「6億円」と答えている。「6億円」の算出根拠は何か。3月議会では答弁を避けられているので、再度伺う。
町長 以前、WDJが進出した場合には、「7億円」と想定した。今後、チェルシージャパンから施設計画が出てくると思うので、その時には、ある程度の税収想定はできる。但し、その他の土地もあり、進出企業の種類により算定は変わってくるが、上限値としては、「7億円」である。

県道富里酒々井線について

問 東関東自動車道に架かる古沢橋の歩道が必要だと思う。また、古沢橋から八街市方面には両側歩道を設置してほしいので、町から県に要望し、実現してほしいと思うが町の考えを伺う。
まちづくり課長 ② 八街市側についても歩道を整備すると県から聞いてい

問 福島第一原発事故における農家の風評被害は

答 風評による被害は少ない

内海 和雄議員

問 ① 酒々井インターチェンジ（以下IC）は、計画どおり平成25年4月に開設できるように関連工事等は順調に進められているのか伺う。
② チェルシージャパン進出計画について、作業はどこまで進んでいるのか。
町長 ① 町施工のアクセス道路については、現在、IC側のカルバート工事等を実施中で、南部側の工事についても発注を進めている。平成24年度は、舗装工事等に着手し、平成25年春のIC供用開始に合わせて進めていく。
② チェルシージャパンは、第一次土地の引き渡し（平成24年4月予定）を受けた後、直ちに建築着工できるよう、建築確認申請等の準備を行っている都市再生機構から聞いている。

都市マスタープランについて



東関東自動車道に架かる古沢橋

問 都市マスタープランの見直しについては、重点的に見直しを行った地域及び内容について伺う。
町長 見直し作業に着手したところなので、現時点では答えられない。
3月11日の地震による被害について
問 町内で被災された方に対する町の対応について伺う。
町長 被災証明の発行や災害義援金の配布手続きを行っている。さらに町独自として、家屋の修理等をした方で、10万円以上の費用を要した方には2万円の見舞金を支給している。

問 酒々井ブランド創出事業の進捗状況は

答 商品の試作と試食、評価作業を行った

原 義明 議員

問 地域ブランドに取り組み、地域活性化を図る酒々井ブランド創出事業が現在推進中である事を踏まえ詳細にわたり次の5点について伺う。

- ① 昨年12月から今年8月までの4回の会議の各々の内容について伺う。
- ② 地域活性化や観光集客ターゲットとする事業故、長期的視点で取り組む事業と考えるが、交付金活用の点から最終的な目標時期の目安を伺う。
- ③ ブランド創出委員の構成内容と若年層委員の存在有無について伺う。
- ④ 町と商工会の委託事業として新規雇用者2名を1年以上雇用することに ついて詳細を伺う。
- ⑤ 商工会雇用のブランド調査員としてセレクトされる基準を伺う。

住民協働課長 ① 1回目は事業目標等の説明。2回目は公募されたアイデア商品の紹介等。3回目は提案商品の選考基準の承認等。4回目はブランドアドバイザーの委嘱や商品の試作、試食、評価作業を行った。

町長 ② この事業は「酒々井町を元気にするきっかけづくり」と考えてお

り、町全体計画の中で、中長期的な協議・検討をしていきたいと考えている。

- 住民協働課長** ③ 事業の趣旨から、商工業関係者、農業団体、公募による委員等20名で構成されている。また、若年層委員は6名程度となっている。
- 町長** ④ 失業者の雇用再生が目的にある。雇用期間は県の補助金が23年度で最終年度となることから、雇用期間は今年1年間となる。
- ⑤ 商工会が事業の趣旨に沿って条件を付し職業安定所を通し募集を行い、商工会で面接を行い、2名を雇用した。

教育現場における放射線教育への取り組みについて

問 原発事故に伴う放射線への対応は町内の調査や測定結果も迅速に保護者に通知されている事は理解しているが、放射線教育は重要と考え、未来ある子供達のためにも早急なテーマである故、教育現場においての方針を伺う。

学校教育課長 文部科学省では、小・中・高校生向けの放射線副読本について、9月中に作成する予定なので、その配本を待つて活用を図っていききたい。

問 東酒々井入口交差点の右折レーン設置はインター開通までの最優先課題

答 平成24年度に用地取得を行う

川島 邦彦 議員

問 酒々井IC開通に対応した道路整備と進捗について次の点を伺う。

- ① IC料金所から国道296号までの工事概要と車線規制等を伺う。
- ② 国道296号東酒々井入口交差点に右折レーン設置の取り組み現状及びIC開通までの実現可能性を伺う。
- ③ 東関東自動車道の陸橋から南部開発入口までの県道に歩道整備が必要と思うが如何か。
- ④ 町道墨・七栄線の用地取得を含めた整備の進捗状況を伺う。

町長 ① 県では、今年度、盛土工事等を行う予定で、平成25年春のIC供用開始に合わせて整備を進めている。また、必要に応じて片側交互通行などの交通規制を行う予定と聞いている。

② 平成24年度に用地取得を行う計画と県から聞いている。

まちづくり課長 ③ 歩道を整備する計画となっている。

担当参事 ④ 県と具体的な整備について、施工範囲等を含めた調整を進め、その後、用地取得を行う予定である。

雑草等の除去について

問 「空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」について以下を伺う。

- ① 条例に定めた勧告や命令の発生件数及び具体的対応方法を伺う。
- ② 雑草等が放置されている場所の把握方法、放置の要因分析及び実態に対する課題を伺う。
- ③ あき地ほどの程度存在するのか。また、空き家軒数の傾向はどうか。
- ④ 持ち家者から住所移転の申請があった場合、自治会等に転居先通知の同意を求める窓口対応ができないか。

町長 ① 文書や電話で除去を要請し、応じない場合は勧告書により勧告しているが、件数は年々減少している。

② 年4回町全体を巡回し、現地確認をしている。放置の要因として、所有者が町外に住んでいるケースが多く、課題は、年1回の除草で完了したと考える所有者がいるため、繰り返し確認し、要請が必要になることである。

担当参事 ③ 宅地化された状態での空き地は概ね114件で、空き家件数については、把握が困難な状況である。

④ プライバシーの面等から難しい。

問 放射能汚染の実態把握を

答 測定場所を8か所から19か所に増やした

地福 美枝子 議員

問 ① 放射能汚染の実態把握、また除染について、町の考えを伺う。

② 保育園や学校給食の食材について、どのような対策を行っているのか伺う。

③ 国は年間被ばく量1ミリシーベルトと基準を示した。このことについて町はどのように考えているのか。

町長 ①③ 測定場所を8か所から19か所に増やした。今後は状況に応じて測定地点を幅広く実施する方法を検討したい。除染の必要が生じた場合は、国や県の指導等を受け対応していく。

教育長 ② 納入業者に産地と安全性等を確認して使用している。

介護保険法の改正について

問 ① 要支援の方はサービスを利用できない懸念もあるが、町はどのように考えているのか。また、利用者の意思を優先させるのか併せて伺う。

② 改正の実施は来年からとなっているが、今後の準備等、どのような予定になっているのか伺う。

町長 ① 地域包括支援センター等と協議を進めている。また、厚労省から事業基準が示されるので注視していく。

健康福祉課長 ① 利用者の意向を尊重して、適切なケアマネジメントを行う。

② 介護を受ける方や家族の形態等多様化していくことが想定されるので、状況を踏まえながら検討していきたい。

太陽光発電設置助成について

問 県では、独自に太陽光発電設置助成を行っている市町村に対し助成しているのか、町としても助成を行うべきと考えるが如何か。

生活環境課長 当町でも助成するため、今議会に補正予算として提案した。医療費無料化について

問 中学3年生までの医療費無料化実施の目的について伺う。

町長 県の動向や町財政状況等、総合的に検討し、拡大したいと考えている。信号機の設置について

問 東酒々井郵便局前の信号機設置について進捗状況を伺う。

担当参事 佐倉警察署と協議したところ、交通事故多発場所ではないこと、また、近接する交差点に信号機の設置を予定していることから、早急に整備することは困難な状況と聞いている。

問 防犯カメラの設置を

答 必要性について検討していく

佐藤 修一 議員

問 ① 昨年千葉県で発生した「ひったくり犯罪」は2,188件で全国ワーストワンという不名誉な記録となった。千葉県では、「手荷物は歩道側に持ちカエル」・「バイクの音には振りカエル」等、「ひったくり防止！千葉カエル作戦」を展開している。酒々井町でも未遂を含めひったくり事件が発生しており、多くの場合、駅からの尾行等で事件になっていると言われている。ひったくり事件は勿論、犯罪抑制のためにも人の流れが多いJR酒々井駅や京成酒々井駅に防犯カメラの設置が必要と思うが町の見解を伺う。

② 住宅地内の十字路やT字路内での車同士の衝突・追突事故が多くなっている。住宅地内の道路には「止まれ」「駐車禁止」等の標識はほとんど見られない。事故発生の多い十字路には調査の上、交通標識を設置すべきと思うが町の見解を伺う。

町長 ① 防犯カメラの設置については、犯罪発生状況を考慮し防犯カメラの必要性について、検討していくことが大事と考える。また、JR酒々井駅

については、今後検討していく。



まちづくり課長 ② 住宅団地内の道路については、住宅団地造成時に千葉県公安委員会と道路形態並びに交差点協議を行い道路標識等は設置されている。しかしながら、住宅団地造成後、長い長い期間経過している住宅団地もあるため、事故多発箇所については、必要に応じて注意看板等の設置や規制標識の設置要望等を行って参りたいと考えている。



問 特別職報酬等審議会で議員報酬等の審議を

答 議会です十分検討し判断してほしい

江澤 眞一 議員

問 酒々井町特別職報酬等審議会において、次の3点の報酬等を審議するべきと考えるが如何か。

- (1) 酒々井町議会議員の報酬
- (2) 各種委員会、審議会等の報酬
- (3) 消防団員の出勤手当の増額

町長 議員報酬は議会及び議員の判断に委ねるべきものと考えており、議会での十分な検討と適切な判断により結論を出すことが良いものと考えてる。

各種委員会、審議会等委員及び消防団員については、地方公務員法に基づく特別職のうち非常勤の者と位置付けられており、特別職報酬等審議会の所掌事項となっていない。但し、消防団員については、安全・安心のためにも必要なものであるので、検討していきたい。

子育て支援について

問 ①一時保育制度について、対象者には、どのように周知しているのか。また、利用状況について伺う。

② 中央保育園、岩橋保育園への送迎を家庭等の都合により出来ない時には、ふれ愛タクシーを利用して送迎で

きるようにするべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長 ① 一時保育については、町ホームページへの掲載やこども課窓口でチラシを配布するなどにより周知に努めている。利用述べ人数は、平成21年度が200人、平成22年度が252人、平成23年度は、8月末現在、120人となっており、年々、利用する児童が増えている。

② 園児の送迎については、厚生労働省の入所手続きや児童の安全確保に関するガイドラインでは、原則、保護者が行うこととされている。提案された事業については、若い世代の子育て支援を推進していくうえで検討課題とさせていただきます。



問 家具転倒防止器具等助成制度の実施を

答 住宅リフォーム補助金制度の中で対応していきたい

竹尾 忠雄 議員

問 ①「3月11日に何が起こったのか」の検証と具体的な対策が必要である。

- (1) 小学校において、子どもたちへの統一的な対応も指示もなかった。
- (2) 文化会館に800人が宿泊したが、備品があっても対応できなかった。
- (3) 防災井戸が活用できなかった。
- (4) 備蓄品の配布方法が決められていなかった。

これらは、他の自治体で起こったことである。当町でもこれらに対応するマニュアル等を作成し、震災時における対策が必要だと思う。(1)から(4)の現状と今後の対応について伺う。

② 家具転倒防止器具等助成制度は、県内で6自治体の実施しているが、当町でも実施すべきと思うが如何か。

学校教育課長 ①(1) 通信手段が途絶えたことを想定した防災マニュアルを策定していなかったことから、児童の保護者引き渡し方法に若干の差異が生じた。そこで、対応マニュアルの見直しと防犯・防災メールが急務であると認識のもと、6月末までに整備を進め、現在では両小学校で共通した対応

がとれるようになった。

町長 ①(2・3・4) 東日本大震災では、避難所の開設等を行わなかったが、大規模災害が発生した場合には、早期に避難所を開設し、食料や水等の物資を提供する必要がある。避難所の運営には、地域住民や避難施設の管理者との連携が重要であるので、今後、防災計画の見直しと併せて、避難所運営マニュアルの策定を検討していく。

② 家具転倒防止器具等助成については、住宅リフォーム補助金制度の対象項目の中に入れていきたい。

放射線被害への対応について

問 町は、学校・保育園・公園等で測定を実施しているが、町内の私立幼稚園2園についても町の責任で測定すべきと思うが如何か。

こども課長 私立幼稚園2園では、6月に消防署の協力のもと測定を行った。今後必要に応じて消防署に測定を依頼することだが、町で放射線測定器の納品が完了したことから、当該幼稚園についても、町で測定を行い、町ホームページ等で公表していく。

その他の質問

金塚 学 議員

・学校教育について

那須 光男 議員

・放射能問題について

齊藤 博 議員

・中央台公園の整備目的について

地福美枝子 議員

・生活保護への対応について

佐藤 修二 議員

・南部地区開発関連について

・生涯学習関連について

竹尾 忠雄 議員

・南部地区開発と関連事業について

・町道改良事業について

平成23年度 補正予算額

(単位：千円)

会計名	補正前	9月補正額	補正後
一 般 会 計	6,011,099	163,318	6,174,417
特 別 会 計			
国民健康保険	2,332,823	68,710	2,401,533
下水道事業	496,576	16,409	512,985
介護保険	903,097	55,374	958,471
後期高齢者医療	138,952	827	139,779

平成23年度 水道事業会計補正予算額

(単位：千円)

	補正前	9月補正額	補正後
収益的支出	464,007	△8,400	455,607
資本的支出	447,268	115	447,383

(仮)酒々井インターチェンジ及びアクセス道路、南部地区を視察

町議会では、9月定例会の初日、6日(火)本会議終了後に、酒々井インターチェンジ及びアクセス道路、南部地区を視察しました。(仮)酒々井インターチェンジの工事現場において、ネクスコ東日本の職員から進捗状況等、詳細な説明がありました。



(仮)酒々井インターチェンジ視察

決算に関する2議案は決算審査特別委員会を設置し、継続審査とすることになりました

◇平成22年度酒々井町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定

◇平成22年度酒々井町水道事業会計決算の認定

9月定例会に上程された決算関係の2議案は、6名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

なお、委員の構成は次のとおりです。

- ◎ 委員長 佐藤 修二
 - 副委員長 江澤 眞一
 - 委員 金塚 学
 - 委員 那須 光男
 - 委員 小早稲賢一
 - 委員 竹尾 忠雄
- 審査状況については、次号でお知らせします。

平成22年度 各会計決算の状況

(単位：千円)

区 分	平成22年度		平成21年度		
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	6,646,034	6,378,954	5,993,413	5,668,274	
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2,260,851	2,123,430	2,121,542	2,012,008	
下 水 道 事 業 特 別 会 計	325,420	304,958	352,240	333,295	
老人保健特別会計	5,549	3,637	9,380	7,405	
介護保険特別会計	951,556	894,181	870,657	797,859	
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	131,513	130,685	122,461	121,218	
水道事業会計	収 益 的 収 入 及 び 支 出	487,038	369,169	469,667	371,066
	資 本 的 収 入 及 び 支 出	11,827	202,447	2,927	162,474



決算審査特別委員会

中学生模擬議会を 開催しました

10月12日(水)、酒々井中学校3年生の代表者16名の中学生議員による、第6回中学生模擬議会が開催されました。

普段町に対して思っていることや考えていることを、中学生の視点から一般質問を行いました。酒々井中学校の環境整備、防災に関すること、町の開発についてなど、中学生議員の皆さんが日頃から疑問に感じている



まさに実体験に基づく質問で、私たち大人がおおいに耳を傾け参考としなければならぬ内容のものでした。

また、最後に中学生の皆さんが感謝の気持ちを込めて、合唱曲「ふるさと」を歌ってくださいました。限られた練習時間にもかかわらず、その素晴らしいハーモニーが議場に響き、酒々井中学校の合唱に取り組み伝統の重みを感じられました。

中学生模擬議会議員名簿

議席番号	氏名	学年組	議席番号	氏名	学年組
1	小口 情	3年1組	9	伊藤 大地	3年3組
2	相京 花奈	3年1組	10	湯野 楓	3年3組
3	竹尾 歩海	3年1組	11	矢内 秀治	3年3組
4	齋藤 茜	3年1組	12	喜多 晴菜	3年4組
5	古川 和樹	3年2組	13	山手 祥平	3年4組
6	猪口 悠奈	3年2組	14	清水 さくら	3年4組
7	三浦 世心典	3年2組	15	高橋 大地	3年4組
8	高橋 結友希	3年2組	16	畠山 奏太	3年4組

* 16番畠山議員は議長

「酒々井南部土地区画整理事業」 について八街市議会が視察来町



八街市議会視察来町

10月14日(金)に、八街市議会の経済建設常任委員会委員7名が、酒々井南部土地区画整理事業及び南部地区新産業団地に関する調査研究のため来町されました。町担当者から説明後、現地視察を行い、活発な意見交換が行われました。

小学生が議場を見学

10月12日(水)に、酒々井小学校2年生の6名が、生活科学習の一環として、議場を見学しました。少し緊張した様子でしたが、議会の説明を熱心に聞いていました。



市民会館の お祭り

次の定例会は12月6日に開会する予定となっております。会期の概要は、11月29日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせいたしますのでご覧ください。皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。
☎ 496・1171
(内線251、252)